



事業実施内容

日本からルワンダへ抹茶専門チームを2回派遣し、現地パートナーと共に実証実験を実施。特定エリアから複数の小分類品種を選び、茶葉の状態・変化を調べると共に、分析計を使用し茶成分を科学的に調べ、抹茶生産の適性をみた。更に実験条件に改良を加え、その効果を確認した。



事業成果

- ルワンダで栽培されているアッサム種の中から複数品種に抹茶生産への潜在性を確認できた。被覆期間や被覆時の茶葉の状態、被覆方式、有機肥料の有無などにより、茶葉及び加工製品の品質に差異及び優劣が出ることを確認できた。その中で一部の品種からは高品位と評価できるパフォーマンスをフィジカルチェック及び科学的分析の双方からも確認することができた。
- 日本とルワンダでの茶の栽培・管理・摘採についての違いを、日本からの専門家と現地パートナーと共にルワンダの現場・現物に触れながら一つ一つ確認でき、ルワンダに向けた手法を複数試すことができたと共に、今後も試す価値のある多くのアイデアを発見することができた。

今後の事業展開

- 年間を通じた商業生産を目指していくための茶の木の管理や生産サイクルの組み立て及び継続的な品質の向上が求められる。日本とは気候・土壌・茶の木の種類も異なる中で、今回の実験対象期間以外での実験継続と品質の改善・向上が必要。
- ルワンダから日本への抹茶チームの派遣。本場の抹茶生産・加工現場を知ることで、新たな気づきを得ることができ、ルワンダでの生産方法に更に改善を加えることができる。
- 今回の実験結果及び過程を受けて、商業生産時に必要となる加工設備の見直し。ルワンダ産抹茶サンプルを用いてのマーケティング開始。